

都市特性の比較による自転車の都市政策に関する考察 (その 2)

—特に SWOT 分析等による 6 政令市の政策を比較して—

(公財)仙台市建設公社 正会員 ○岩崎 裕直

1. はじめに

前回に続き各都市の都市特性と自転車施策について SWOT分析による評価を行いながら、都市政策の実効性や今後の方向について論じる。なお、紙面の都合から具体的には仙台市を事例として取り上げながら、SWOT分析と自転車関連計画について比較考察するが、他の5都市についても同様の考察を行うこととした。都市特性の重要な視点での比較評価も併せて行うこととする。

図 - 1 SWOT分析手法について



2. SWOT分析について

都市において自転車を安全で快適な交通手段とする目標において、現状を捉えながら戦略を立てる手法の一つに SWOT分析(図-1 参照)を用いることは有効である。

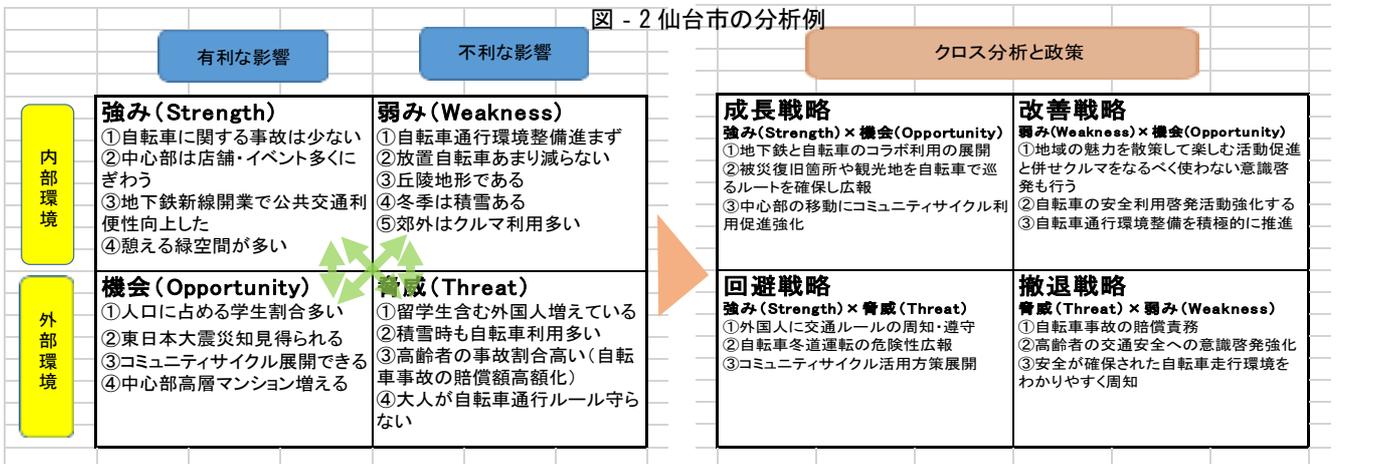
この分析方法は、外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリで要因分析し、内外の環境変化に対応した経営資源の最適活用を図る、成長・改善・回避・撤退の4方向の経営戦略を導き出すものである。

今回取り上げた各都市の自転車施策に関する目的は、ほぼ同じ方向である。したがって、都市特性を踏まえた自転車に関するSWOT分析は、各都市の政策判断に役立つものとする。最近では自治体の経営戦略の策定手法としても定着しており、筆者自身仙台市総合交通戦略(現「せんだい都市交通プラン」)の策定に際して採用した。

3. 仙台市のSWOT分析事例と評価

図 - 2 の SWOT 分析による 4 つの戦略と表 - 1 の自転車関連計画と比較すると、都市政策として重視した方向

図 - 2 仙台市の分析例



キーワード 都市特性, 自転車施策, SWOT分析, 経営戦略, 自転車利用関連計画

連絡先 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目10-10 (公財) 仙台市建設公社 常務理事 TEL022-214-8469

表 - 1 各都市の自転車関連計画概要

仙台市	新潟市	福岡市	千葉市	堺市	京都市
社の都の自転車プラン(自転車利用環境総合計画) 平成25年7月策定(平成29年3月中旬見直し) 目標年次:平成32年度 目標:みんなにやさしい自転車利用環境づくり	自転車利用環境計画 平成22年3月策定(平成26年3月改定) 目標年次:平成31年度 目標:歩行者の安全確保と自転車の交通事故削減と利用促進	①自転車利用総合計画 平成16年7月策定 ②自転車通行空間ネットワーク整備計画 平成26年3月策定 目標年次:①なし②平成34年度 目標:①快適かつ安全な利用環境の確保と適正な利用を促進②歩行者や自転車利用者の安全性を高める	①ちばチャリ・すいすいプラン 平成25年8月策定 ②第2次自転車等の駐車対策に関する総合計画 平成28年3月策定 目標年次:①30年間(短中期各5年)②平成33年度(前・後期各3年) 目標:①安全で快適な走行環境整備で自転車の街・千葉市目指す②量の確保から質の確保	自転車利用環境計画 平成25年6月策定 目標年次:10年後 目標:自転車のまち 堺～自転車を利用しやすいまち～の実現	新自転車総合計画 平成27年3月策定 目標年次:時期改定時期まで(H31) 目標:世界トップレベルの自転車共存都市

と自転車施策との関連が判別できる。戦略上の政策判断のポイントは改善戦略と撤退戦略に力点を置いている。一部に回避戦略が含まれるが、残念ながら成長戦略に関わる取組みが弱いことが判る。

一方、仙台市では自転車の安全利用に関する条例を制定しようと鋭意取り組んでおり、他都市の同様の条例と同じく自賠責保険加入の義務付けなどが特徴であるが、自転車事故の少ない都市である仙台市において、回避戦略を優先することが不要とは考えないが、これと併せて成長戦略や改善戦略も積極的に取り上げることを薦める。

4. 各都市の比較評価結果

(1) 各都市のSWOT分析と自転車関連計画との比較評価

仙台市以外の5政令市について、SWOT分析と自転車関連計画との比較結果について下表の通り整理する。

表 - 2 都市別SWOT分析と自転車関連計画との比較まとめ

都市名	SWOT分析と自転車関連計画との比較
新潟市	自転車関連計画との関連で改善戦略とともに回避戦略を重点化して取り組んでいる。できれば成長戦略につながるソフト施策も計画に取り上げることを薦める。
福岡市	自転車関連計画との関連で改善戦略を重点化して取り組んでいる。外国人対応や公共交通システムの関連として成長戦略につながる取組みを計画に取り上げることを薦める。
千葉市	自転車関連計画との関連で成長戦略とともに改善戦略を重点化して取り組んでいる。オリンピックを捉えた自転車関連施策の一層の推進を期待する。
堺市	自転車関連計画との関連で成長戦略を重点化して取り組んでいる。様々な機会を捉えて自転車利用促進につながる取組みを展開できれば「自転車のまち」に近づくものと期待する。
京都市	自転車関連計画との関連で改善戦略とともに回避戦略を重点化して取り組んでいる。「世界のトップレベルの自転車共存都市」を目指すならば、観光面の一部の成長戦略に取組むだけでなくより積極的な展開を薦める。

(2) 都市特性の4視点による比較評価

ここで、上記評価に加えて都市特性として重要な「文化」「交流」「まちづくり」「交通」の4つの視点による評価を整理すると、「文化」でトップを目指す京都市は「まちづくり」では他市に遅れ、「交流」でトップの福岡市は「文化」や「まちづくり」で他市に追随している。新潟市や仙台市は「まちづくり」や「交通」で伸びているが「交流」では他市に遅れている。千葉市と堺市は「まちづくり」で抜きん出ているが、堺市は「文化」にも力が入っているものの「交通」で他市に遅れており、千葉市は「文化」「交流」で他市に遅れている。

5. まとめ

前回に続き今回はSWOT分析を行いながら都市政策の方向を自転車関連計画で比較評価した。SWOT分析に当たって注意が必要なことは4区分の違いと整理に際しての視点が大事である。また、都市特性で重要な「文化」、「交流」、「まちづくり」、「交通」の視点による比較でさらに判りやすくなる。できるならば、「自転車まちづくり」を標榜するだけでなく、実現する都市が現れることを期待する。なお、本稿で取り上げなかったコミュニティサイクルについては別稿で取り上げる。

参考文献

- ・「都市特性の比較による自転車の都市政策に関する考察(その1)」岩崎裕直 2017年9月